



our products

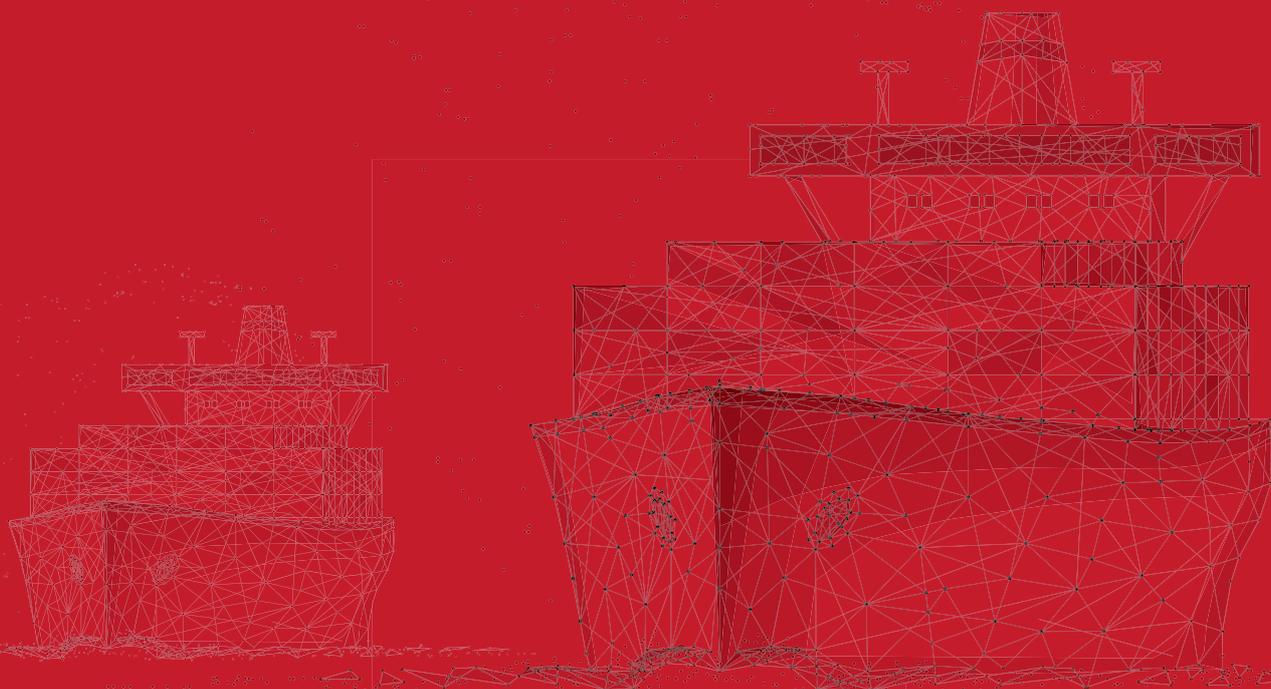
General Catalog

advanced and reliable

advanced and reliable

our products come with an integrated range of
global services as standard

designed for life at sea



目次

航行支援

船舶用レーダー	3
ECDIS (電子海図情報表示装置)	6
VDR (航海情報記録装置)	7
AIS (船舶自動識別装置)	8
BNWAS (船橋航海当直警報装置)	8
GPS コンパス	9
GPS 航法装置	9
音響測深機	10
スピードログ	11
ブリッジシステム	12

無線通信

インマルサット Fleet Xpress	13
インマルサット C	15
MF/HF 無線装置	16
VHF 無線電話装置	16
ナブテックス受信機	17
VHF/UHF 無線電話装置	17
気象用ファクシミリ	18
EPIRB (非常用位置指示無線標識)	19
レーダートランスポンダー	19

サービス

情報サービス (J-Marine Cloud)	20
リモートメンテナンスシステム (RMS)	22
ライフサイクルマネジメント (LCM)	22
JRC グローバルサービスネットワーク	23



EU 船用機器指令 (MED) 適合機器

MED に適合していると認められた機器



GMDSS 対応機器

GMDSS による搭載要件に対応する機器



インマルサット型式承認機器

インマルサットにより型式承認を受けた衛星通信機器



Innovation Endorsement (IE)

Products & Solutions を取得



リモートメンテナンスシステム対応機器

リモートメンテナンスシステムによる遠隔診断に対応する機器

船舶用レーダー

長年の経験で培われた高い技術力と信頼性



JMR-9200 シリーズ (26 インチワイド) および JMR-7200 シリーズ (19 インチ) は、豊富な経験と高い技術力によって生み出された、卓越した性能と豊富な機能をもつ装置です。最新の IMO 決議に適合しており、当社が先進技術を投入して独自に開発した高性能レーダー信号処理プロセッサを搭載し、他を圧倒する優れた性能を誇っています。また、人間工学に基づき機能的に配置・分類された専用操作部はストレスのない快適な操作性を実現するとともに、高画質な映像と洗練されたメニュー構成で、見やすさと扱いやすさに磨きをかけました。これらの優れたコア技術と高度な信頼性設計の融合により、世界トップレベルの高信頼性を実現し、多くのお客様から高い評価を頂いております。

詳しくは
ウェブサイトへ



JMR-9200 シリーズ



製品ラインナップ

レーダーのアンテナは、約 9.4 GHz の周波数を使用する X バンドレーダーと、約 3 GHz の周波数を使用する S バンドレーダーの 2 種類があり、6 フィートから 12 フィートまで対応しています。これらの豊富なラインナップで、お客様のニーズにマッチした理想的なシステムをご提供致します。

	JMR-7200 シリーズ	JMR-9200 シリーズ
レーダーアンテナ	6、7、9 フィート X バンド 12 フィート S バンド 固体化 6 フィート X バンド 固体化 9 フィート X バンド 固体化 8 フィート S バンド 固体化 12 フィート S バンド	
送信出力	10、25、30 kW マグネトロン 250、600 W 固体化	
レンジスケール	0.125-96 NM	
高速回転型アンテナ	○	
ディスプレイ	19 インチ	26 インチワイド
有効直径 (PPI)	250 mm 以上	320 mm 以上
TT 他船情報表示	最大 100 目標	
AIS 情報表示	最大 500 目標 (オプションで最大 1,000 目標)	
リアルタイムヘッドアップ (Constaview)	○	
最適化物標拡大機能 (TEF)	○	

船舶用レーダー

特長

Safety Zone Viewer 機能

衝突の危険が高い領域をレーダー画面に表示することで、安全な航行領域を航海士が直感的に把握可能になります。また、輻輳海域においても安全な進路が一目でわかり、避航計画の立案にも効果的です。

VHF リモート操作

VHF リモート操作機能を搭載しています*¹。VHF 本体のチャンネル設定や、レーダー PPI 画面上の AIS ターゲットによる DSC *² 呼出しをすることができます。ワイヤレススピーカーマイク*³などにより VHF 本体から離れた場所で相手船との通話を実現しています。

* 1 : JHS-800S が対応。

* 2 : Digital Selective Calling (デジタル選択呼出装置)

一般業務用通信の呼出しを始め、安全や緊急の呼出し、遭難した時に救助を要請するための呼出しに使用します。

* 3 : ワイヤレススピーカーマイクは JHS-800S のオプションになります。

固体化空中線に対応

XバンドとSバンド固体化モデルでMED検定を取得しています。

・予熱・同調不要

予熱時間と同調操作が不要です。電源投入後、速やかに安定した映像を得ることができます。

・物標をドップラーフィルターで鮮明に抽出

マグネトロンを使用するレーダーでは適用が困難であったドップラーフィルターを用いた新方式のデジタル信号処理により、従来のレーダーよりもクラッター内の物標検出性能が向上しています。

・マグネトロン交換不要

信頼性の高い半導体送信回路の採用により、定期的なマグネトロン交換が不要になり、保守費用削減につながります。

運用に合わせた機能拡張

ソフトウェアライセンスを追加することで機能を拡張することが可能です。船上でのレーダー運用開始後でも追加することができるために、実際の運用状況に合わせたカスタマイズが可能です。

・チャートレーダー機能*⁴

・Safety Zone Viewer *⁵

・波浪解析

・AIS 表示目標数拡張 (500 から 1,000)

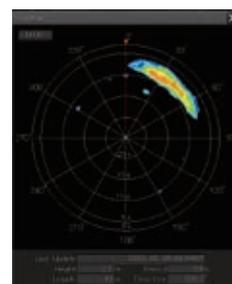
* 4 : チャートレーダー機能の使用には電子海図データの導入が必要。

* 5 : 2022年6月以降のソフトウェアで対応。

安全・低燃費運航をサポートする波浪解析機能

Xバンドレーダーで得られる自船近辺の海面反射信号を解析し、波高・波向・波長・波周期情報をスペクトラム映像と合わせて表示します*⁶。この波浪解析で得られる情報をもとに、波による船体の捻れ・揺れを抑える針路をとることで、乗組員、積荷に対する安全性の向上をはかり、燃料消費も抑えた航行が可能になります。

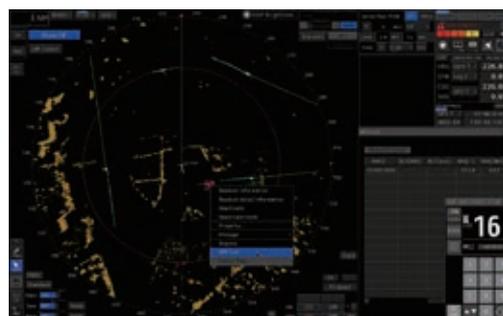
* 6 : スペクトラム映像は JMR-9200 シリーズのみ対応。



波浪解析表示例



Safety Zone Viewer 画面表示例



レーダー JMR-9200 シリーズ
26 インチディスプレイ 表示画面



8 フィート Sバンド 250 W

船舶用レーダー

船舶用レーダー



JMR-5400 シリーズは、JMR-9200/7200 シリーズで採用している当社が独自に開発した高性能レーダー信号処理プロセッサを搭載することで、探知性能と描画性能が当社従来機種 JMA-5300MK2 シリーズに比べて飛躍的に向上しました。また、物標探知に優れた新開発の空中線をはじめ、固体化空中線もラインナップしています。最新の IMO 決議にも適合しています。

詳しくは
ウェブサイトへ



JMR-5400 シリーズ

特長

セカンド PPI 表示

メイン PPI と異なる表示レンジの設定ができるので、メイン PPI 内の自船周辺を部分拡大して表示が可能です。



セカンド PPI 表示例

8 フィート S バンド固体化空中線

従来、大型船向けだった固体化空中線を小型軽量化し、中小型船への装備を可能にしています。



8 フィート S バンド
250 W



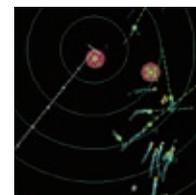
9 フィート X バンド
25 kW

進化したマグネトロン空中線

新同調システムを採用し、映像が安定するまでの時間が 5 秒から 1.25 秒に短縮しています。また、輻射部の薄型化により、駆動部の信頼性が向上しています。

TT 機能 / AIS 表示機能

TT 機能を標準装備しており、注視したいターゲットの TT シンボルを指定するとハイライト表示され、一目で動向を追尾・把握することが可能です。AIS シンボルでも同様のハイライト表示が可能です。



TT 機能 / AIS 表示機能

オリジナルメニュー

必要なメニューだけを選択してオリジナルメニューを作成することができます。また、使用頻度の高いメニューは、お気に入りメニューで一発呼び出しが可能です。



ECDIS (電子海図情報表示装置)

ECDIS



JAN-9201 (26 インチワイド) および **JAN-7201** (19 インチ) は、最新の IMO 決議に適合した多機能 ECDIS です。海図に AIS 情報やレーダー情報を重畳することにより、他船の動的情報を的確に表示することができます。航海の安全航行を支援するための航海情報装置です。

詳しくは
ウェブサイトへ



JAN-9201

特長

- 最新の IMO 決議に適合し、MED 検定を取得
- ユーザーの声を反映させた直感的で使いやすい表示・操作を実現
- 航路編集と航路の安全チェックを統合し、より安全な航路計画をサポート
- 運用に合わせた拡張が可能なソフトウェアライセンスで各種オプション機能を提供
- 世界各地のさまざまな機関で機器別習熟トレーニングを実施

運用に合わせた機能拡張

ソフトウェアライセンスを追加することで機能を拡張することが可能です。船上での ECDIS 運用開始後でも追加することができるため、実際の運用状況に合わせたカスタマイズが可能です。

- AIS 表示目標数拡張 (500 から 1,000)
- レーダーオーバーレイ機能*¹
- Track Control System (TCS) 対応*²
- ジョイスティック操舵システム対応*³

*1: レーダーオーバーレイ機能はオプションのレーダーインターフェース回路とレーダー映像の信号入力が必要です。

*2: TCS とは、ECDIS 上で計画した航路と自船位置から命令方位を計算し、その値をオートパイロットに送信することによって設定された航路に船を自動保持する機能です。TCS 機能はオートパイロットの接続が必要です。

*3: 横河電子機器製: STEERING JOYSTICK CONTROLLER

東京計器製: マルチファンクションジョイスティックシステム

とのインターフェースが可能です。ジョイスティック操舵システムに対応するオートパイロットの接続が必要です。



衛星通信ブロッキング表示機能



JAN-7201S

ECDIS



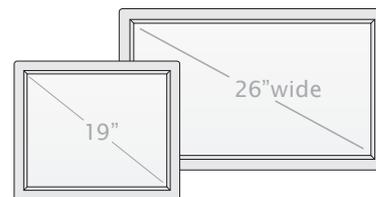
JAN-7201S (19 インチ) および **JAN-9201S** (26 インチワイド) は、最新の IMO 決議に適合した JAN-9201/7201 をベースにした ECDIS です。既存船への ECDIS 装備や換装に適したコストパフォーマンスの高い ECDIS です。

詳しくは
ウェブサイトへ



特長

- 最新の IMO 決議に適合し、MED 検定を取得
- ユーザーの声を反映させた直感的で使いやすい表示・操作を実現
- 航路編集と航路の安全チェックを統合し、より安全な航路計画をサポート
- 世界各地の様々な機関で機器別習熟トレーニングを実施
- 19 インチ (SXGA) /26 インチワイド (WUXGA) の 2 種類のモデルを用意



VDR (航海情報記録装置)

VDR



JCY-1900 は、航海中の日時、船舶の位置、針路、速力、船体の状態および船橋での会話を記録する装置です。海難事故の原因究明や再発防止に役立てられます。最新の IMO 決議に適合しており、全ての船舶への搭載要件を満たしています。高い耐久性と安全性を持つ、業界標準カプセルを採用し、最新の技術を取り入れています。

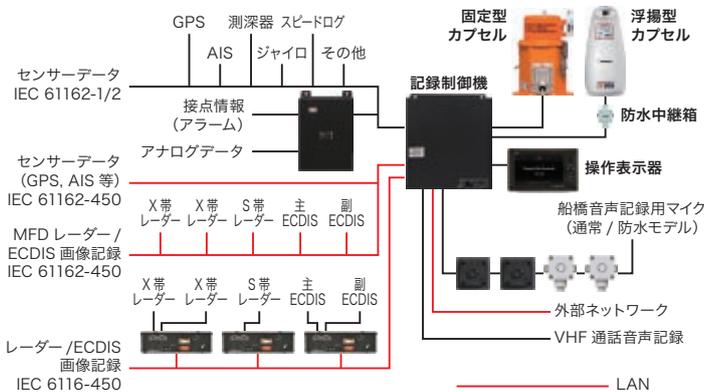
特長

- ・7インチワイド VGA カラー液晶タッチパネル採用
- ・IP ベースの簡単装備
- ・高信頼性のカプセルと船内装置
- ・記録内容のチェック機能を装備
- ・当社オリジナルのリモートメンテナンス機能を標準装備

詳しくは
ウェブサイトへ



JCY-1900



システム系統図

様々な通信機器、航法機器、船舶に装備される各種センサー類との接続において省配線化を実現しています。装置間のシンプルな接続は、VDR システムの長期間安定動作につながります。

情報サービス

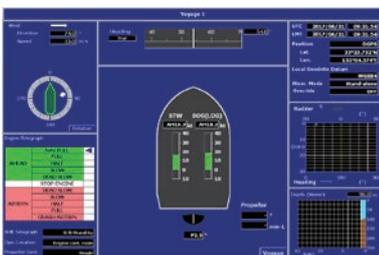
当社製 VDR や J-Marine NeCST を用いた情報サービス (Smart Ship Viewer) を提供しています。大容量高速衛星通信サービス*¹ (インマルサット社の提供する Fleet Xpress) を搭載頂くことで、管理会社事務所に於て管理対象船舶の状況を「見たい時に見ることが可能」となります。

*1 : このサービスは、Inmarsat FX または VSAT の搭載が前提になります。



船舶モニタリング

陸上の PC やスマートフォンから船舶の動静や搭載機器の状態を把握できます。



VDR データダウンロード

VDR/S-VDR*² に蓄積されたデータを、陸上でダウンロードできるサービスです。ダウンロードしたデータは、VDR Real Time Monitor*³ ソフトウェアを使用して再生することが可能です。

*2 : JCY-1900/1950 に対応。

*3 : 当社製ソフトウェアです。当社営業にお問い合わせください。

AIS (船舶自動識別装置) BNWAS (船橋航海当直警報装置)

AIS



JHS-183 は、船舶の位置情報や針路、船速などの航海情報、船名や積荷などの情報を VHF 帯で定期的に送信するとともに、他船から送信されたこれらの船舶情報を常時受信し表示するシステムです。AIS は 2000 年の SOLAS 条約 (海上人命安全条約) の改正に伴い、全ての客船と、国際航海に従事する 300 GT 以上の船舶および国際航海に従事しない 500 GT 以上の船舶に対して搭載が義務化されました。各種の船舶情報 (船名や MMSI などのほか、船位、コース、速度などの情報) が送受信可能です。

特長

- ・視認性に優れた 4.5 インチ高輝度液晶表示部採用
- ・白色またはオレンジ色の 2 色から選択可能な LED バックライト搭載
- ・当社独自のアンテナ一体型トランスポンダー
- ・コントローラーとトランスポンダーの接続は同軸ケーブル一本
- ・パイロットプラグを標準装備

詳しくは
ウェブサイトへ



JHS-183

BNWAS



JCX-161 は、当直航海士の不在や注意不足状態を監視し、危険な船舶運航状況の早期発見を目的とするものです。最新の IMO 決議に適合しております。

詳しくは
ウェブサイトへ



特長

- ・視認性に優れた 4.5 インチ高輝度液晶表示部採用
- ・白色またはオレンジ色の 2 色から選択可能な LED バックライト搭載
- ・航海機器からのアラーム入力に標準対応
- ・新設計の小型軽量、低消費電力の周辺装置を採用
- ・IMO 決議 MSC.128 (75) に適合



JCX-161

防水式リセット用ボタン



モーションセンサー



LED 式可視警報装置



リセット用ボタン



可視警報用ブザー

GPS コンパス GPS 航法装置

GPS コンパス



JLR-21/31 は、最新技術の採用により、海上で安全かつ効果的な船舶航行を可能にする、安定かつ高精度な「真方位」データを提供します。

詳しくは
ウェブサイトへ



特長

- ・5.7インチのディスプレイ
- ・ロール、ピッチ、および旋回率を統合表示
- ・実用性に優れた表示モードを多数搭載
- ・高速追従に対応 (45°/秒の最大追従回頭角速度)
- ・船首方位伝達装置 (THD^{*1}) 検定に準拠

*1 : Transmitting Heading Device



JLR-21/31



センサー NNN-21



センサー NNN-31

GPS 航法装置



JLR-8600/8400 は、マルチ GNSS^{*2} に対応した新型 GPS センサーにより測位精度を向上させた航法装置です。高精度な位置情報を提供することで、船舶のより安全な運航に寄与します。

*2 : GPS、GLONASS、BeiDou、SBAS

詳しくは
ウェブサイトへ



特長

- ・高精度な位置情報を捕える新開発 GPS センサー
- ・高精度な情報を安定して提供するシステム
- ・使いやすいユーザーインターフェース (JLR-8600)
- ・優れた拡張性と装備性 (JLR-8600)
- ・従来機と同様の一体型モデルもラインナップ (JLR-8400)



GPS センサー
JLR-4350



JLR-8400 (一体型)^{*3}
表示器 NWZ-4620



JLR-8600 (別体型)^{*3}
表示器 NWZ-1650

*3 : 一体型は、センサーと処理機を内蔵した表示器の構成です。別体型は、センサー、表示器と処理機の構成です。

音響測深機



音響測深機

JFE-400/700 は、高い精度と信頼性ととも、従来からの測深技術を継承しています。視認性の高いタッチパネル LCD を採用、装備性に優れた 6.5 インチ分離型（セパレートモデル）と高解像度 10.4 インチ一体型（オールインワンモデル）を用意しています。

詳しくは
ウェブサイトへ



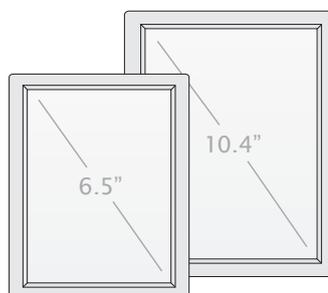
JFE-400



JFE-700

特長

- IMO 決議 MSC.74 (69) Annex 4 に適合
- セパレートモデルとオールインワンモデルをラインアップ
- 視認性の高いカラータッチパネル LCD
- 過去 48 時間の測深データの記録と読み出しが可能
- 表示画面をプリンターで印刷可能



多彩な装備方法

JFE-400/JFE-700 は、1 台に 2 つの送受波器を接続することができ、船首と船尾の水深を個別に計測することも可能です。周波数は 50 kHz と 200 kHz が選択でき、それぞれを同時あるいは別々に動作させることができます。

50 kHz

200 kHz



単一周波数
1. 50 kHz
2. 200 kHz



船首 / 船尾
3. 50 + 50 kHz
4. 200 + 200 kHz
5. 50 + 200 kHz

送受波器の装備位置は、船種や船底形状に合わせて最適な場所を決定します。

通常は気泡の影響が少ない船首部分に装備されます。

スピードログ

サテライト・ログ



JLN-720 は、GPS 衛星の信号を利用して対地速度を計測する装置です。船の船首尾線方向、船首と船尾それぞれにおける左右方向の 3 方向の速度を計測します。

詳しくは
ウェブサイトへ



GPS コンパスセンサー
NNN-21



主表示器
タッチパネル対応
NWZ-510SDG

JLN-720

特長

- IEC 61023 Ed.3.0 の SDME 船速距離計規格に準拠
- 0.02 kn または 0.2% の高精度な対地船速を提供
- 3 軸船速に加えて、ROT・積算距離（総航程 / 区間航程）情報も合わせて表示可能
- タッチパネルを用いた主表示器を採用し、簡単操作と見やすい表示を両立
- 当社独自のリモートメンテナンスシステムに対応

ドップラ・ログ



JLN-740 シリーズは、対水速度を計測する装置です。当社独自の気泡検出機能を搭載しており、気泡付着による船速精度の低下をお知らせします。

詳しくは
ウェブサイトへ



送受信器
NKF-547



主表示器
タッチパネル対応
NWZ-510SDW

JLN-740 シリーズ

特長

- IMO 決議 MSC.96 (72) に適合
- 船速計測精度 0.03 kn または 0.3% 以内を実現し、低燃費・定時運航をサポート
- 気泡付着による船速精度の低下を知らせる、当社独自の気泡検出機能を搭載
- 視認性の高いタッチパネル搭載カラー LCD モデルを用意
- 高い計測精度はそのまま、小型船舶への搭載にも対応する 3 ユニット構成モデルを用意

スピードログ



JLN-900 は、対地用および対水用の両振動子を搭載し、対地対水の速度を独立して計測する装置です。

詳しくは
ウェブサイトへ



振動子
CFT-780



主表示器
NWW-82

JLN-900

特長

- IMO 決議 MSC.334 (90) に本製品 1 台のみで適合
- 対地船速は水深 250 m まで計測可能
- 対地船速 3 軸*¹、対水船速 1 軸まで計測可能
- 水温や塩分濃度の影響を受けない正確で安定した相關式
- 小型軽量のゲートバルブを標準搭載

* 1：ジャイロ信号入力が必要です。

ブリッジシステム

J-Bridge SBJ-9200 シリーズは、安全航行と操船環境の最適化を追求した統合ブリッジシステムを構築することができます。お客様のさまざまなご要望に柔軟に対応します。

詳しくは
ウェブサイトへ



特長

ブリッジコンソールのモジュール化

当社のブリッジコンソールは、全てのコンソールをブロック単位でモジュール化、標準化されたモジュールを用いることで対応することができます。また、お客様のご要望に応じて、柔軟にカスタマイズすることも可能です。



スタンダードコンソール
(800mm 幅)



スタンダードコンソール 2連架
(1600mm 幅)



コーナーコンソール



チャートコンソール

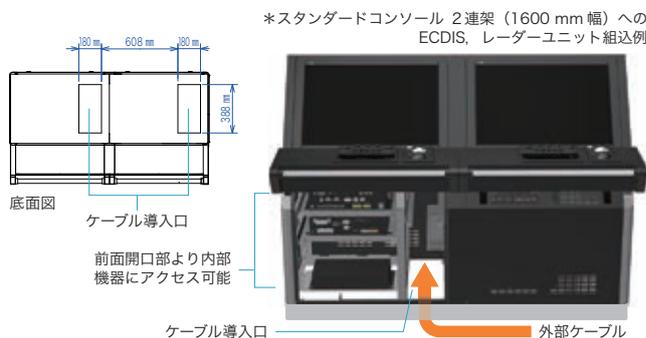
デザイン性と装備性の両立

洗練されたデザインとメンテナンスや装備の容易さを両立した設計です。内部機器へのアクセスが容易となり、外部から引き込んだケーブルの取り回しを一か所に集約することで、作業者の負担を軽減させます。

- ・前面の開口面積を広くすることでメンテナンス性が大幅に向上
- ・外部からのケーブル導入口を一か所に集約
- ・工具不要でメンテナンススペースにアクセス可能
- ・ネジの見えないシームレスなデザイン

本体のカラー変更と材質選択に対応

お客様のご要望に応じて本体カラーの変更に対応、手すりの材質はウッド、メタル等から選択が可能です。



*カラー変更は特別塗装色となるため、別途費用が発生いたします。

インマルサット Fleet Xpress

Fleet Xpress (FX)

Fleet Xpress は、GX システム (Ka 帯通信) と FB システム (L 帯通信) が融合したシステムです。FX システムは、2つのシステムの長所を活かして、晴天時は高速通信可能な GX システムを使用、天候により降雨減衰が大きくなった場合は、通信速度が制限されますが安定した通信を提供する FB システムに切り替わり、ユーザーに高速かつ安定した通信を提供します。



衛星通信ワンストップサービス

インマルサット Fleet Xpress などの VSAT システムの通信端末から回線契約まで、お客様が個別で手配していた業務をワンストップでご提供いたします。

Global Xpress (60GX)



JUE-60GX は、装備が容易な 60 cm アンテナを採用しながらも様々な IP ネットワークサービス (インターネット、メール、IP 電話など) を高速に提供する船舶用衛星通信端末です。

特長

詳しくは
ウェブサイトへ



- ・小型 / 軽量化アンテナを用いた超高速データ通信
- ・極地域を除く全世界で使用可能
- ・剛構造による耐振動設計
- ・アンテナフレームのアルミ化による軽量設計
- ・多層ハニカム構造による低減衰、低反射レドーム採用



JUE-60GX

GX システムの主なサービス

GX (JUE-60GX)

インターネットアクセス	パケット交換型 ベストエフォート アップリンク：最大 5 Mbps ダウンリンク：最大 50 Mbps 最大通信速度は通信料金契約による
音声	VoIP データ通信中の音声/Fax 通信が可能
ビデオチャット	スマートフォンや PC を利用したビデオ電話
コンテンツ配信	新聞、ビデオ、音声や海図の配信

衛星通信ブロッキング表示機能*1

当社製インマルサット FBB および、インマルサット GX*4 が衛星と通信している時に、衛星アンテナにおける受信レベル、ブロッキング発生状態や送信停止状態*5 をレーダー*6 に表示します。

* 2 : 衛星通信ブロッキング表示機能はオプションになります。 * 3 : JUE-251/501、JUE-60GX が対応。
 * 4 : 送信停止状態は、JUE-60GX のみ対応。 * 5 : JMR-9200/7200 シリーズが対応。



ブロッキング表示例

インマルサット Fleet Xpress

FleetBroadband



JUE-501/251 は、コンパクト設計で装備が容易、お客様自身でも短時間で高速通信環境を構築できる船舶用衛星通信端末です。

特長

- 最大 432 kbps *¹ ベストエフォート型高速データ通信対応
- スムーズな動画伝送も可能な 256 kbps *² のストリーミング通信対応
- アンテナケーブルは同軸一本、ジャイロレスの簡単装備
- 豊富なインターフェース、多様なネットワーク、セキュリティ機能を標準装備
- PBX (交換機) 内蔵による内線電話、着信転送機能などをサポート

* 1 : JUE-501 の場合。JUE-251 は 284 kbps

* 2 : JUE-501 の場合。JUE-251 は 128 kbps



JUE-501

詳しくは
ウェブサイトへ



JUE-251

詳しくは
ウェブサイトへ



FB250 (JUE-251)

FB500 (JUE-501)

	FB250 (JUE-251)	FB500 (JUE-501)
スタンダード IP	最大 284 kbps	最大 432 kbps
ストリーミング IP	8、16、32、64、128kbps	8、16、32、64、128、256 kbps
ISDN	64 kbps	
音声	4 kbps, 3.1 kHz-Audio	
Fax	G3 fax (3.1 kHz-Audio 回線を使用)	
ショートメッセージ	スタンダード 3G (最大 160 文字)	
接続ポート	Handset×1, TEL/FAX×2, Ethernet×6 ISDN×1, WRF×1	

ジャンクションボードを追加することでさらに豊富な周辺装置の接続に対応

- 電話回線 (RJ-11) 4 本
- 外部ブザー 4 台
- ボイスディストレスボタン 1 台
- 信号入力 (GPS、ジャイロ)
- 信号出力 (リモート電源スイッチ、多目的接点信号)



ジャンクションボード

インマルサット C

インマルサット C システム

JUE-87 は、GMDSS に関する最新の IMO 決議に適合した高信頼性衛星移動体通信装置です。ストア&フォワード・メッセージ通信や EGC 受信などの充実した標準機能を持ち、正確で経済的なグローバル通信が行えます。



詳しくは
ウェブサイトへ



JUE-87

特長

- ・ 10.4 インチの高輝度・高精細カラー液晶データターミナルを一体化した船内装置
- ・ 高性能高周波フィルターを搭載した船上装置
- ・ 船内装置と船上装置の接続は同軸ケーブル一本
- ・ 船舶長距離識別追跡 (LRIT) に標準対応
- ・ 船舶保安警報システム (SSAS) に対応可能 (オプション)



船舶保安警報システム (Ship Security Alert System : SSAS)



JUE-95SA



JUE-95SA は、海賊行為やテロ攻撃の場合に、ひそかに操作できるように配置した警報ボタンを使って動作させることができる保安警報システムです。保安警報システムは船のセキュリティが脅威下にあるか、人命にかかわる状況にあることを旗国の権限ある機関に通報します。警報ボタンが解除されるまで船舶から海岸局に、船舶 ID、自船位置、時刻等の警告信号を繰り返し送信します。その際、警報が発信されたことを周囲に気づかれないよう、ブザー音等はありません。

詳しくは
ウェブサイトへ



船舶長距離識別追跡装置 (Long Range Identification and Tracking : LRIT)



JUE-95LT



JUE-95LT は、インマルサット C システムを用いた LRIT 専用機です。IMO 決議で制定された LRIT 要求仕様に適合するとともに、軽量・コンパクトなユニットとシンプルなシステム構成により、最小限のコストで装備が可能です。

詳しくは
ウェブサイトへ



船舶位置管理システム (Vessel Monitoring System : VMS)



JUE-95VM



JUE-95VM は、FFA (ソロモン群島漁業局 : Forum Fisheries Agency) の VMS のために開発された船舶位置管理システムです。船舶の位置情報を、FFA からのポーリングにより、FFA に自動的に発信します。オプション機能として、所定の DTE または PC を接続することにより、インマルサット C メッセージを送受信することができます。

詳しくは
ウェブサイトへ



MF/HF 無線装置 VHF 無線電話装置

MF/HF



JSS-2150/2250/2500 は、使いやすいユーザーインターフェースを持ち、限られたスペースでも簡単に設置できる先進のモジュール設計を特長としています。

詳しくは
ウェブサイトへ



JSS-2150/2250/2500

特長

- ・3.8インチのディスプレイ
- ・6チャンネルDSCを標準内蔵
- ・ブラックボックス構成により自在に設置可能
- ・デジタルアンプによるハンドセット/内蔵スピーカー出力
- ・ジョグダイヤルによる簡単操作



GMDSS コンソール

GMDSS コンソール

GMDSS に適合した MF/HF 無線装置及びインマルサット C 用の自立型コンソールです。各無線機器、電源、充電器、非常灯、GPS バッファ、分電端子台等を一つの筐体に内蔵することにより、操作性の向上と装備工事の簡素化を実現しています。

VHF



JHS-800S は、Class A DSC 対応の国際 VHF では世界初*¹のタッチパネル式液晶採用の無線電話装置です。操作部にはタッチパネル式5インチ高輝度カラー液晶を採用、最適化したボタン配置により、直感的な操作を実現しています。

詳しくは
ウェブサイトへ



JHS-800S

特長

- ・国際 VHF 無線電話装置で世界初*¹タッチパネル式液晶採用
- ・専用設計スピーカーと新型ハンドセットの採用による高音質な受信音を実現
- ・無線部と操作部を一体化したコンパクト設計で装備性が向上
- ・Bluetooth[®] 接続のワイヤレススピーカースピーカーマイクで移動しながらでも通話が可能
- ・当社製 ECDIS/レーダーの AIS ターゲットを使い容易な DSC 呼出しを実現

* 1 : Class A DSC 対応の国際 VHF 無線電話装置、2019 年 4 月現在、当社調べ。

* 2 : 通話距離は最大 10 m です。当社テスト値につき、保証値ではありません。

* 3 : BTR-155 はオプションです。

* 4 : ワイヤレススピーカースピーカーマイク BTR-155 は、SAVOX 社製の製品です。

・ Bluetooth[®] のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, INC の登録商標です。

・ Bluetooth[®] インターフェース : Bluetooth[®] 3.0 Class2



ワイヤレススピーカースピーカーマイク
BTR-155 *2 *3 *4

ナビテックス受信機 VHF/UHF 無線電話装置

ナビテックス受信機



NCR-333 は、3つの周波数で放送される航行警報、気象警報、捜索救助情報、その他の情報を同時受信し、液晶画面に表示します。また、プログラムにより受信したい局や受信したいメッセージを選択することができます。各チャンネルのメッセージを最大で200個まで70時間保持するメッセージ保持機能を持ち、視認性の良い液晶ディスプレイを採用しております。

詳しくは
ウェブサイトへ



NCR-333

特長

- ・5.7インチのディスプレイ
- ・3周波同時受信
- ・選択可能な文字サイズ
- ・外部プリンター（オプション）への出力が可能
- ・当社製 ECDIS への出力が可能



JHS-7



JHS-207



JHS-431

双方向 VHF 無線電話装置



JHS-7/207^{*1} は、SOLAS 規定に準拠した、生存艇用の双方向 VHF 無線電話装置です。

*1：日本籍船に搭載する場合は JHS-7 を使用してください。

詳しくは
ウェブサイトへ
JHS-7



詳しくは
ウェブサイトへ
JHS-207



船上通信用無線電話装置

JHS-431 は、船内、船舶間、船陸間通信用に設計された UHF 帯船上通信用無線電話装置です。本質安全防爆構造規格（ATEX 規格、NK 規格）^{*2} に適合し、タンカーや LPG 運搬船などの引火性危険物運搬船で使用できます。

*2：防爆構造規格
ATEX Directive 94/9/EC
Gas：II2GD Ex ib IIA T3
Dust：II2GD Ex tD A21 T160°C

詳しくは
ウェブサイトへ



気象用ファクシミリ



10 インチ記録モデル

JAX-9B は、小型・軽量・使いやすさ・低価格を重点に開発、操作性・信頼性・維持費など全てにご満足いただける10インチ幅記録の小型気象ファクシミリです。

詳しくは
ウェブサイトへ



JAX-9B

特長

- ・有効記録幅 10 インチ
- ・多彩な起動方式
- ・PC 出力 (オプション) で即座にイメージ確認
- ・自動周波数選択
- ・簡単な操作と高信頼性読み出し

JAX-9B

記録方式	サーマルヘッドによる固体記録方式
記録紙	感熱記録紙 260 mm×25 m ロール
有効記録幅	256 mm (10 インチ)
協働係数	288 および 576
走査速度	60、90、120、240 SPM
副走査密度	約 3.5 本 /mm (288)、および約 7 本 /mm (576)
位相整合	自動または手動
外部入力	600 オーム 1900±400 Hz 0 dBm
起動方式	1. 全自動 2. 半自動 3. 全手動 4. プログラム動作

EPIRB (非常用位置指示無線標識) レーダートランスポンダー

EPIRB



JQE-103/Tron 60AIS^{*1}は、船舶の遭難時、救助を求めるために水面に浮上し、衛星に向けて遭難救助信号を発信し、航空機に向けて捜索救助信号を発信する装置です。

*1：日本籍船に搭載する場合は JQE-103 を使用してください。
2024 年 1 月以降の日本籍船の義務搭載基準適合予定品

特長

- ・ 406 MHz、121.5 MHz の二周波対応
- ・ AIS ホーミング信号送信^{*2}
- ・ GNSS 受信機能搭載^{*2}
- ・ 小型、軽量化による容易な装備
- ・ シンプルな構造と簡単なメンテナンス
- ・ 耐錆、耐劣化構造
- ・ 風、振動等に強いフレキシブルアンテナを採用

*2：Tron 60AIS に対応。

詳しくは
ウェブサイトへ
JQE-103



JQE-103



Tron 60AIS

レーダートランスポンダー



Tron SART20 は、捜索および救助活動にて使用するために設計された機器であり、捜索を行う船舶や航空機に搭載されている 9 GHz 帯レーダーから発射されるレーダー波を受信すると応答信号を発射し、捜索側へ位置を知らせる救命設備です。

特長

- ・ GMDSS に適合
- ・ 小型でコンパクトな携帯しやすい設計
- ・ 危険物輸送規制に非該当のリチウムメタル電池を内蔵し、輸送が簡単
- ・ 船上保守が簡単な 5 年メンテナンスキット (交換用電池キット) を用意

詳しくは
ウェブサイトへ



Tron SART20

情報サービス (J-Marine Cloud)



情報サービス (J-Marine Cloud) は、船舶の見える化を実現し、安全・安心でスマートな運航管理を目指すサービスです。海上分野においても衛星通信サービスの高速化、定額制プランの登場に伴い、インターネット接続が容易となりました。船陸間での情報共有やそれら情報の有効活用により、さまざまなソリューションを実現できる環境が整ってきており、従来では難しかった陸上からの船舶の見える化を実現します。

詳しくは
ウェブサイトへ



特長

共通プラットフォームに収集・提供

さまざまな情報を共通プラットフォームである「J-Marine Cloud」で収集することで、多彩なコンテンツを提供することができます。

Smart Ship Viewer

SSV Mobile

JM-Weather

海・陸から収集した情報をデータベース化

気象・海象情報提供事業者、陸上レーダー局・陸上 AIS (別途設置が必要) などから収集した各種情報をデータベース化し、複数のモニターやパソコンに重畳表示します。

J-Marine Cloud

J-Marine NeCST

NeCST Manager

Smart Ship Viewer

航海・運航に関する様々な問題の解決

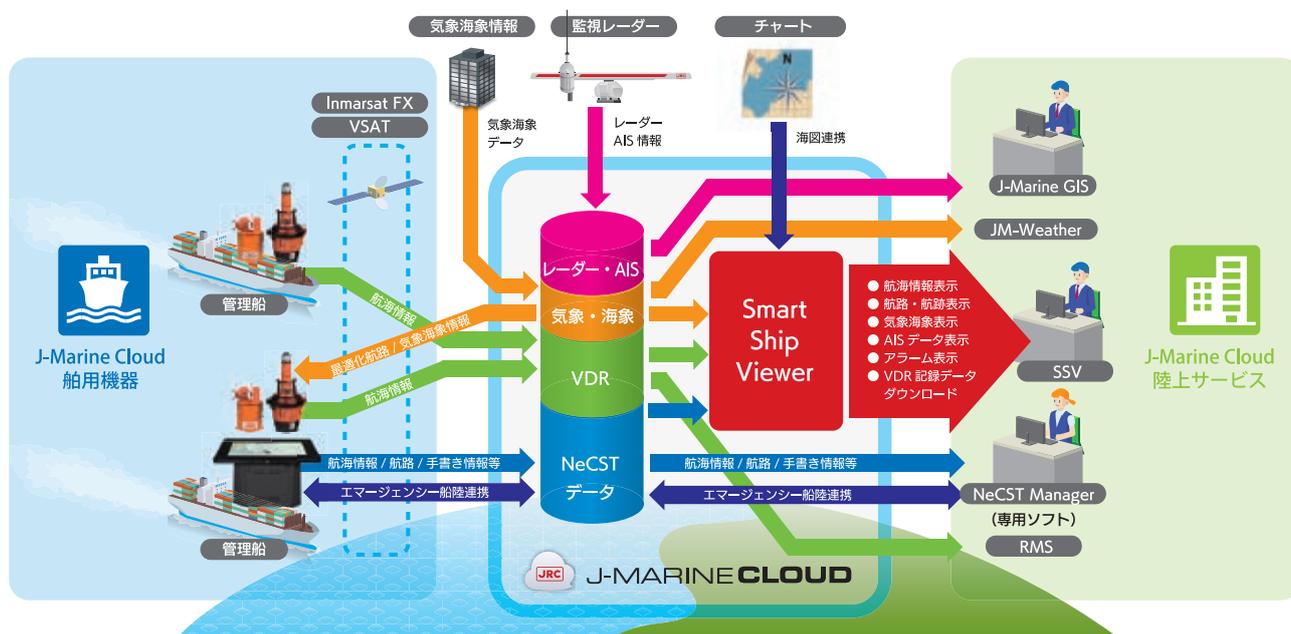
省エネルギー航行・環境対策・海賊対策など、陸上からの的確な運航支援や、運航に関しての様々な問題の改善・解決の支援に貢献します。

Smart Ship Viewer

J-Marine NeCST

J-Marine GIS

リモートメンテナンスシステム



J-Marine NeCST (運航支援装置)



詳しくは
ウェブサイトへ



JAN-470 シリーズは、電子海図を含む航海情報をディスプレイで管理・共有する運航支援装置です。J-Marine NeCST の優れた特長の一つである手書き入力機能により、航海計画立案の効率化と最適化を実現し、さらに気象・海象予測システムを始めとした J-Marine Cloud との連携により、あらゆる船舶運航情報を集約管理し、さらなる安全・効率運航の実現に寄与していきます。



26 インチ

46 インチ

情報サービス (J-Marine Cloud)

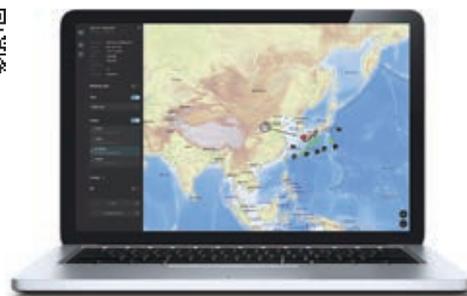
Smart Ship Viewer (SSV)

Smart Ship Viewer (SSV) は、本船の運航状況把握等、VDR データダウンロード、船陸間の情報共有により、経済的かつ安全安心な運航管理をサポートします。

Inmarsat FX 等の常時接続型衛星通信装置を持つ船舶に当社製の機器を搭載することで、船舶の状況を Web ブラウザから「見たい時に見ることが可能」となり、経済的かつ安全安心な運航管理を支援します。

【主なサービス】

詳しくは
ウェブサイトへ



Smart Ship Viewer [Fleet Viewer 画面]

- ・船舶モニタリングサービス
- ・VDR データダウンロードサービス
- ・航路離脱監視機能
- ・航海計画共有機能
- ・データダウンロード機能
- ・計測機能

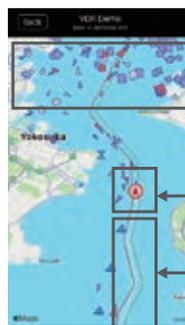
- 本機能を使用するためには、Smart Ship Viewer 契約および Smart Ship Viewer への接続環境 (Web ブラウザー) が必要です。
- 陸上側にインターネット接続したパソコンが必要です。SSV Mobile 使用時には専用アプリをインストールしたスマートフォンが必要です。
- 船舶側に VDR/S-VDR または J-Marine NeCST または J-Marine Box、および Inmarsat FX または VSAT 等のインターネット接続機器の搭載が必要です。

SSV Mobile

スマートフォン画面に管理している船舶の一覧を表示することが可能です。船名、データの最終受信時刻、緯度・経度のほかに、エマージェンシー発生の有無や本船に搭載された当社製船舶用機器の状態も把握することができます。



管理船の一覧表示



地図上での本船位置

他船シンボル (AIS)

《他船シンボルの形状と色》

形状：船舶の速力によって変化

色：船舶の状態と船種によって変化

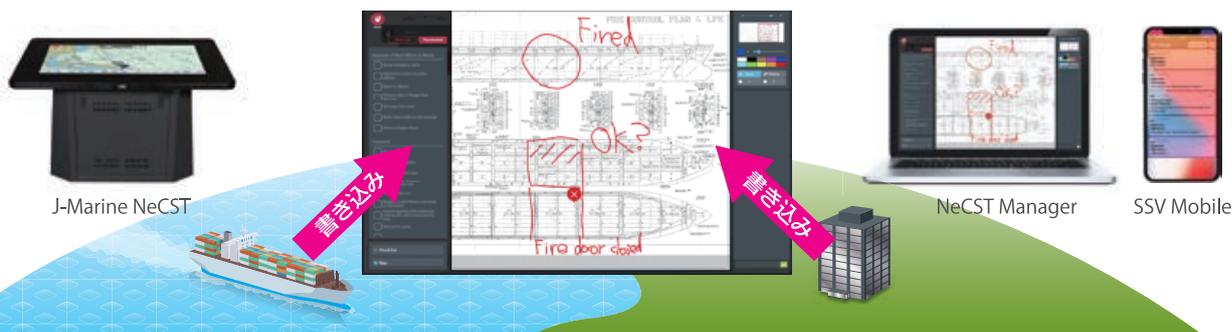
本船位置シンボル

航跡・航路

NeCST Manager

NeCST Manager は、NeCST 搭載船と陸上でリアルタイムに双方向の情報共有が可能になります。緊急時に船内の状況を陸上でリアルタイム共有を実現する「船陸間のエマージェンシー連携」機能や NeCST 搭載船と連携して管理対象船舶に気象海象情報を重畳表示できる「運航管理情報表示」機能など、陸上と本船のスムーズな連携が可能です。

同一ファイルを互いに更新することで
緊急状況をリアルタイムで共有



- NeCST エマージェンシー機能を使用するためには、Smart Ship Viewer 契約および Smart Ship Viewer への接続環境が必要となります。
- NeCST Emergency のすべての機能を使用するためには、NeCST Manager を装備する必要があります。



リモートメンテナンスシステム (RMS)

メンテナンスをシンプルに！

リモートメンテナンスシステム (RMS) とは、当社製の VDR 装置をリモートメンテナンスサーバーとして利用することで実現される当社航法機器・通信機器のリモート診断機能です。船陸間通信は衛星回線を利用し、場所を選ばないセキュリティの高い通信を実現します。当社の航法機器・通信機器には自己診断機能を含んだリモートメンテナンス機能が組み込まれており、各機器から VDR への配線を追加することで容易に導入可能です。

リモート診断

乗組員の方々の手を煩わすことなく、陸上から直接機器に接続して動作状況を診断します。

保守費用の削減

装置の稼働状態を監視・分析することにより、適切なタイミングでの部品交換を可能とします。計画的なメンテナンスの実現により、保守費用の削減に貢献します。

衛星回線接続

衛星回線を使用して船舶と接続します。両極地域を除く世界中の海で診断が可能です。

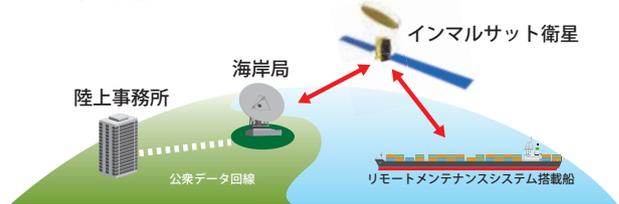
船上ソフトウェアアップデート機能

航海中でも搭載機器のソフトウェアアップデートが可能のため、機器の最新性を維持することができます。

既存機器を使用

船に装備されている当社の VDR 装置を使ったシステムです。追加のオプション等は発生いたしません。

RMS 概念図



詳しくは
ウェブサイトへ



ライフサイクルマネジメント (LCM)

ライフサイクルマネジメント (LCM) は、お客様の船舶が売船・廃船されるまでの間のトータルコストオブオーナーシップ (Total Cost of Ownership : TCO) の削減に貢献するサービスです。このサービスは、船舶に搭載される当社製無線機器・航海機器のメンテナンスだけにとどまらず、リモートメンテナンスシステム (RMS) *¹ や情報サービス (J-Marine Cloud) *¹、J-Marine NeCST *¹ をご利用いただくことで、本船や陸上における業務効率化にも貢献します。

当社が提案する LCM は、当社独自の船舶カルテによる「ルール対応の必要性も考慮した『部品・消耗品交換情報』」や「保守期間を考慮した『装置換装情報』」をベースとして、年間メンテナンスのメニューを用意しております。

年間メンテナンス：

年次検査時におけるルール上交換が必要な部品や消耗品交換を同時に実施するサービスと、外観も含めた機器の状態や経年変化の確認、必要に応じた処置を実施する年間定額制の保守サービスを JRC マリンフォネットにより提供されます。



*1：これらのサービスについては、別途、ご紹介しております。

JRC グローバルサービスネットワーク



JRC グローバルサービスネットワーク

当社は創業以来、製品の販売と同時にフィールドでのアフターサービスを積極的に行ってきました。今日、当社は支店・営業所および全世界 200 以上の認定代理店を結ぶ世界規模のネットワークで 1 年 365 日、24 時間体制のサービスを提供しております。



JRC one-call

サポート番号

当社のサポートが必要な場合は、世界中のどこからでも場所や時間に関係なく、いつでも同じ番号：+81 50 3786 9201 にお電話ください。



研修

研修制度

当社では各拠点（東京、ロッテルダム、シンガポール、ヒューストン、上海、韓国）にて代理店研修を実施しており、全てのお客様にご満足いただけるよう、質の高いエンジニアの教育に力を入れております。また、お客様向けには機器の操作説明等の研修制度も用意しております。



First Aid Kit (FAK)

部品配備*¹

当社は世界各拠点に First Aid Kit として部品を配備しています。スケジュールがタイトな場合でも、発注いただいた部品は最小限の時間で発送いたします。

* 1 : 1 拠点に約 500 アイテムの補修部品を配備（東京の他に 23 拠点）。

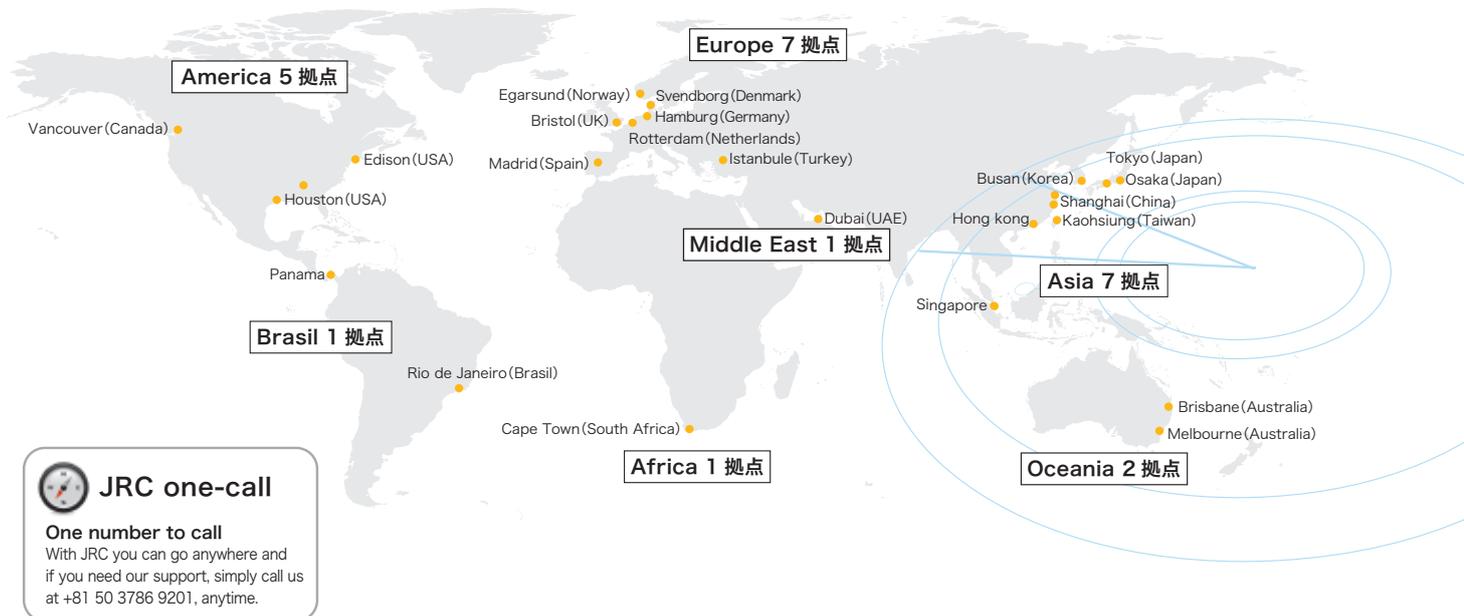


年間保守

万全のサービス

それぞれのお客様に合わせた、場所を選ばない年間保守とサービスの契約をお勧めしています。

FAK 配置拠点





※外観・仕様などは、予告なく変更することがあります。



注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。



日本無線株式會社

JRCウェブサイト <https://www.jrc.co.jp/>

辰巳事業所 〒135-0053 東京都江東区辰巳1-7-32

マリンシステム営業部 ☎(03)5534-1115(ダイヤルイン)

函館支店	〒040-0065	函館市豊川町10-6	☎(0138)22-5855
仙台支店	〒983-0852	仙台市宮城野区榴岡3-4-1	☎(022)781-6173
関西支店	〒530-0001	大阪市北区梅田3-4-5	☎(06)6344-1633
九州支店	〒812-0024	福岡市博多区綱場町4-1	☎(092)262-2141

釧路 稚内 八戸 焼津 高知 長崎 鹿児島 釜山 上海 台北 マニラ ハノイ
シンガポール ジャカルタ ロッテルダム アテネ エーゲルスン ニューヨーク
ヒューストン リオデジャネイロ

54JM

ISO9001, ISO14001 認証取得

2023年5月作成

©2020.7 CAT.No.A251 (No.707-4-0.5) M